

平成23年度 事業報告  
(平成23年4月1日～平成24年3月31日)

I. ビジネス拡大支援事業

1. 企業PR支援

(1) 中国地域ニュービジネス大賞表彰事業

中国地域におけるニュービジネスの健全な育成と振興を図るため、独創的かつ市場性のあるニュービジネスを展開している企業・経営者等に「第19回中国地域ニュービジネス大賞」等の表彰を実施しました。

【第19回中国地域ニュービジネス大賞表彰結果】

名称	企業名	表彰事業
大賞	(株) キグチテクニクス (島根県安来市)	航空機産業等に対応できる金属部品、材料の評価ビジネスの展開
優秀賞	倉敷青果荷受組合 (岡山県倉敷市)	『品質』をキーワードにしたカット野菜の製造・販売システムの展開
	(株) コーポレーションパールスター (広島県東広島市)	産学官連携で開発した靴下による転倒防止対策
	(株) 八天堂 (広島県三原市)	100種類におよぶパンの製造・販売からクリームパンの製造・販売に特化
特別賞	海洋建設 (株) (岡山県倉敷市)	貝殻漁礁『JFシェルナース』の設計・製作・販売
	(株) 木原製作所 (山口県山口市)	省エネ型食品乾燥機の開発・製造・販売及び6次産業化の支援
	(株) サンエー (広島県三次市)	ディーゼル・エンジン用超小型・低コスト尿素センサーの開発・製造・販売
	(株) ストロベリーメディアアーツ (山口県下関市)	軽量、高精細LEDビジョンの企画・製造・販売
	智頭石油 (株) (鳥取県智頭郡)	中古車を利用した安価なレンタカー事業及び官民カーシェアリング
	(株) ヘイセイ (鳥取県東伯郡)	ガス営業用のコミュニケーションツール(あご入り鯉ふりだし)の開発

受賞企業を上部団体である(社)日本ニュービジネス協議会連合会(JNB)主催の「第6回ニッポン新事業創出大賞」へ推薦した結果、企業部門優秀賞(社団法人日本ニュービジネス協議会連合会会長賞)に(株)キグチテクニクス様と(株)木原製作所様が、アントレプレナー部門優秀賞(社団法人日本ニュービジネス協議会連合会会長賞)に(株)コーポレーションパールスター様、(株)八天堂様が選出されました。

引き続き平成23年11月1日より「第20回中国地域ニュービジネス大賞表彰制度」の募集を開始し、36社からのご応募をいただきました。H24年2月7日の第一回審査会において、厳正な書類審査を行い、二次審査対象企業を17社に絞り込み、3月から現地ヒアリング調査を実施しました。

## 2. 販路・取引先開拓支援

### (1) 販路支援事業 (Win-Win2011)

中国地域の優れた商品・サービスの販路拡大支援および地域経済の発展を目的として、「Win-Win2011」を開催し、主に食品・生活雑貨関連商品等を扱うセラー企業様（製造業者等）とバイヤー企業様（小売・流通業者）に個別商談の機会を提供しました。

#### 【実施概要】

開催日	9月15日	会場	広島県立広島産業会館 東展示館
バイヤー企業	33社※（百貨店、スーパー、ホームセンター等）		
セラー企業	85社（食品・生活雑貨関連企業等）		
個別商談件数	420件		
商談結果（成約見込み）	165件（39.3%）〔バイヤーアンケート集約結果〕		

※参加バイヤー企業様（業態順、敬称略）：【百貨店】（株）そごう・西武（株）天満屋、（株）福屋【スーパーマーケット】イオンリテール（株）、（株）イズミ、（株）イトーヨーカ堂、（株）エブリイ、（株）サンリブ、（株）天満屋ストア、（株）仁科百貨店、（株）ハローズ、（株）フジ、マックスバリュ西日本（株）、（株）マルイ、（株）三原スーパー、（株）ユアーズ【コンビニエンスストア】（株）セブン-イレブン・ジャパン（株）ファミリーマート、（株）ポプラ、（株）ローソン【ホームセンター】コーナン商事（株）、（株）ジュンテンドー【その他】（株）関西エアポートエージェンシー、西日本高速道路ロジスティックス（株）、マツダエース（株）【カタログ販売】ヤマトホームコンビニエンス（株）【ネット通販】（株）ぐるなび、（株）ダイエースペースクリエイト【卸売】（株）高山、中村角（株）、（株）日本アクセス、三菱食品（株）【企業間取引サイト運営等】企業組合東京セールスステップ（東京都知事認可企業組合）

### (2) 中国NBC Webマーケット「ビジネス応援サイト『商い知恵袋』」

本サイトは、会員様に自社や商品・サービスのPR、モニター募集など自由な内容で掲載していただき、閲覧を広く一般に開放することで、会員様の販路・取引先開拓を支援するものです。例えば、自社HPを持っていない会員様には自社のPRサイトとして活用していただいております、また、すでに自社HPを有している会員様には、自社サイトでは十分に表現できない自社のトンガリ（例：社長や社員の紹介、イチオシの商品・サービス等）を掲載し、自社HPへの誘導を図るなど、多様な形で活用して頂いております。

現在までの成功事例として、

- ①経済レポート、産業新聞などメディアからの取材の申し込みがあり、記事が掲載された。
- ②技術に関する問い合わせがあり、試作品を作り、提案中。
- ③海外からのオファーがあり、商談中。（動画での情報掲載がある企業）
- ④仕事の依頼、購入の申出があった。

以上のようなビジネスでの展開が報告されております。

## 3. 調査研究支援

### (1) ニュービジネス研究会

会員様から自社事業の範囲を超えた新しい取組みや課題解決を指向した提案を受け、共に取り組む意欲のある企業を募り、研究会を実施しました。（実施件数：1件）

#### ■表面処理技術商店街「ぴか☆まくモール」（広域）

主旨：平成19年の中国経済産業局からの受託事業「中国地域産業クラスターフォーラム事業」の一環として立ち上げました。受託事業終了後も、付加価値の高い技術を有する表面処理事業者とユーザーメーカーの連携・交流を促進し、イノベーションや新事業創出を図ることを目的として継続運営しています。

実績：2回開催（平成19年度から継続実施中）

回	日 程	概 要	出席者数
12回	8月27日	<ul style="list-style-type: none"> <li>・日立ツール 松江表面改質センター見学、意見交換</li> <li>・守谷刃物研究所 企業交流、新素材開発連携研究に関する意見交換【講師：石田副工場長】</li> <li>・ぴかまくモール会員企業と島根県・鳥取県企業との交流会（参加企業・機関 7社、11名）</li> <li>・ぴかまく企業技術の紹介、中国NBCのPR</li> <li>・パネル展示にて個別交流、日立ツール見学会</li> </ul> <p><b>【研究会成果】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・日立ツールの最新加工装置、開発技術情報による交流</li> <li>・守谷刃物研究所の新技术開発連携の具体化</li> <li>・ぴかまくモール会員企業と島根・鳥取県企業との新たな接点の構築、取引の可能性を見出した。</li> <li>・アンケートによれば参加者から概ね好評を得られた。</li> </ul>	9名 + 企業交流会 参加者 11名
提携 研究会	11月18日	<ul style="list-style-type: none"> <li>・金属ガラスに関する技術講演(やまぐち産業振興財団) 新山ログランドホテルにて</li> </ul> <p>概要：①磁性材料：牧野教授 (東北大学金属研究所)</p> <p>②ナノ加工：早乙女教授 (東北大学金属研究所)</p> <p>③機械特性・評価：藤田教授 (宇部工業高専)</p> <p>④微小モーター：清水氏(並木精密宝石)</p> <p>⑤金属ガラスの製品化事例：西山氏(RIMCOF)</p> <p><b>【研究会成果】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・やまぐち産業振興財団との連携により、ぴかまくモールが提案した金属ガラス材料による応用製品開発について意見交換がなされた。</li> </ul>	70名
13回	3月27日	<ul style="list-style-type: none"> <li>・光輝性アルミニウム合金鋳物製造技術について</li> <li>講師：岡山県工業技術センター 日野室長</li> <li>・新技术・新商品開発にかかる情報提供</li> <li>・高圧塗装剥離技術</li> <li>・色彩復元・褐色防止保護剤</li> <li>・有機圧電デバイス</li> <li>講師：中国NBC 桑原コーディネーター</li> </ul> <p><b>【研究会成果】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・紹介された技術より来期の共同開発テーマとして取組むこととなった。</li> <li>・ぴかまくモールは平成24年度も継続して活動を行うこととなった。</li> </ul>	8名

<p>ぴかまくモール ホームページ</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ぴかまくモールの情報発信を目的 企業紹介、イベント告知等のほか、会員によるブログ『ぴかまく公論』を随時更新。</li> <li>・URL：<a href="http://pikamaku.net/">http://pikamaku.net/</a></li> <li>・ぴかまくモール ホームページサイトの閲覧状況 訪問者数：2011年度 5458（2010年度 4891） ※アクセス数は微増しており、問合せもある。</li> <li>【ホームページ効果】</li> <li>・ぴかまくモールの活動、企業を紹介することで、 ぴかまくモール会員への新たな問合せなどに繋がり側面的なPRと信頼性向上に役立っている。</li> </ul>	<p>随時 更新</p>
---------------------------	---	------------------

## II. 経営改革支援

### 1. 人材・リクルート支援

#### (1) 平成23年度 産学協働教育を通じた地域中小企業の魅力発信事業

##### ■目的

企業への取材を通じた魅力発信レポートの作成を地域の経済界と大学が協働して実施することで、学生と中小企業等の接点を創り出し、学生の進路選択時の視野拡大や過度な大企業志向の意識変革を図ることを目的としています。

##### ■概要

本事業は経済産業省が発注元になり全国11団体が受託しました。中国地方では中国地域ニュービジネス協議会のみが受託し、広島地域プロジェクトチームを組成して本事業を実施しました。

＜広島プロジェクトチームメンバー＞

経済産業省中国経済産業局／広島県中小企業家同友会／広島放送(株)

広島修道大学／広島文化学園大学／安田女子大学／中国地域ニュービジネス協議会

＜参加大学／参加学生数＞

安田女子大学 14名／広島修道大学 9名／広島文化学園大学 2名 合計 25名

＜取材先協力企業＞（11社）

(株)アイグラン（広島市中区）、(株)イベントスコミュニケーションズ（広島市中区）、  
(株)カンサイ（広島市佐伯区）、(株)酒商山田（広島市南区）、(株)昭和観光社（東広島市）、  
(株)ソアラサービス（広島市中区）、(株)タニシ企画印刷（広島市中区）、永本建設(株)（廿日市市）、  
広島駅弁当(株)（広島市東区）、(株)やまだ屋（廿日市市）、(株)山豊（広島市安佐南区）

##### ■スキーム

- ① 2～3名で構成された学生チームが企業を訪問し、経営者インタビュー等の企業取材を実施。  
⇒通常は2日間、インターンシップとして実施した安田女子大学は5日間の訪問を行いました。
- ②取材後、レポートをPower Pointで作成し、『広島グランプリ』にて取材先企業・大学関係者・学生等の前にて発表を行いました。

## ■実施スケジュール

- ・ 6月上旬 広島地域プロジェクトチーム発足。
- ・ 7月 参加学生を募集。
- ・ 8月11日 『事前学習会』（学生への説明会）を開催。
- ・ 8月下旬～9月 企業への取材訪問実施。
- ・ 9月23日 『情報交換会』（学生へのフォロー、広島グランプリの説明）を開催。
- ・ 9月～10月 レポートの作成・提出。
- ・ 11月23日 『広島グランプリ』（発表会）を「ホテルJALシティ広島」にて開催。

## ■成果

- ①本事業後に参加学生対象に実施したアンケートによると、約8割の学生が「中小企業にとっても興味を持てた。」「自分の就職先として中小企業を考えるようになった」と回答しており、意識改革の一助となりました。
- ②本事業は学生が自ら訪問日程調整、インタビュー実施、レポートの作成、発表を行うことにより、学生の主体的行動能力の向上が見られたという意見が参加大学関係者からありました。

## 2. 中小企業支援

中小企業庁の施策である「中小企業支援ネットワーク強化事業」を活用し、会員企業様からの各種相談（新事業展開、創業、事業再生、事業承継、ものづくりの高度化等）のうち、特に専門的な知識や技術が必要な課題・悩みごとなどに対し、弊協議会の登録のSA(サポートアドバイザー)3名(田村、岸本、馬場SA)を軸に、適切な助言や支援を実施しました。特に、弊協議会のプロパー事業である「Win-Win2011」にエントリーされたセラー企業様に対しても、バイヤーとの商談時に短時間で的確なプレゼンができるような、資料作成の手ほどきやアドバイスをはじめ、商談後のフォローを実施しました。また、(独)中小企業基盤整備機構のアドバイザーと協力し、会員の課題解決に向けた助言活動も実施しました。

### 【中小企業支援ネットワーク強化事業の実績】

業 務	主な実績
ネットワーク強化事業での相談業務	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 支援内容：弊協議会に登録のSA(サポートアドバイザー)を軸に、会員、非会員からの相談、課題解決に対して支援(1企業1テーマ3回まで無料、ただし、1月より10回まで無料に拡大)</li> <li>・ 対応企業件数：56社</li> <li>・ 訪問回数：延べ108回(1.9回/相談)</li> </ul>
Win-Win関連の相談業務	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 支援内容：Win-Win参加セラーへ商談会当日のバイヤーへのプレゼン方法の手ほどき(当日のみ)</li> <li>・ 当日対応専門家：5名</li> <li>・ 当日対応企業件数：27社(1回/相談)</li> <li>・ 今回から、Win-Win開催の前後からネットワーク強化事業のスキームを活用し、商品概要書の作成指導、商談後のフォロー相談(セラー同士のマッチング、販路開拓等の支援)を実施</li> <li>・ 事前・事後対応企業数：10社(当日対応企業27社の内)</li> <li>・ 訪問回数：延べ26回(2.6回/相談)(1回/相談)</li> <li>※対応企業件数、訪問件数はネットワーク強化事業の件数に含む</li> </ul>
その他	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 支援内容：中小企業基盤整備機構のアドバイザーと連携した過去のNB大賞受賞企業を対象とした相談、課題解決に対して支援</li> </ul>

	<p>* 弊協議会会員、非会員企業へのPR</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 対応企業件数：24社</li> <li>・ 訪問回数：延べ27回（1.1回／相談）</li> </ul>
--	---

### 3. 経営者魂養成講座（経営塾）

会員のうち、次世代経営者および若手経営者（27名）に対し、ベテラン経営者および国・行政機関のトップの生の経験談を聞いたり、現場を視察する機会の提供、および受講者同士、受講者と講師・事務局との交流を通じたネットワーク拡大を支援することを目的に、平成23年度から「経営者魂養成講座（経営塾）」（塾頭：藤麻 功 副会長）を開設しました。本講座は平成23年9月から平成24年3月まで、各支部持ち回りで計7回実施し、受講者から好評を得るとともに、弊協議会の収益にも寄与しました。

#### 【H23年度開催概要】

開催日	ミニ講演	講師1	講師2	現場視察等	会場
第1回 9月2日 (広島)	塾頭開講挨拶 藤麻 功氏	中国経済産業局長 井辺 國夫氏	関東NBC会長 池田 弘氏	開講式	ANAクラウン プラザホテル 広島
第2回 10月3・4日 (島根)	島根支部長 金津 任紀氏	中村ブレイス(株) 代表取締役 中村 俊郎氏	(株)アイ・コミュニケーション 代表取締役 目次 真司氏	中村ブレイス(株) 神楽鑑賞	輝雲荘 (温泉津温泉)
第3回 11月15・16日 (山口)	山口支部長 藤麻 功氏	(株)フジマ 代表取締役 藤麻 一三氏	(株)カシワハラ・コーポレーション 代表取締役社長 柏原 伸二氏	(株)ルネサス柳井 セミコンダクタ	ベルゼ
第4回 12月26・27日 (岡山)	岡山支部長 中島 義雄氏	ナカシマプロペラ(株) 常務取締役 中島 義雄氏	(株)ベネッセホールディングス 取締役会長 福武 總一郎氏	グループ討議	ベネッセ アートサイト直島
第5回 1月26・27日 (東部)	広島東部支部長 宮地 治夫氏	カイハラ(株) 代表取締役社長 貝原 潤司氏	(株)八天堂 代表取締役 森光 孝雅氏	ヒロポー(株) ライブファクトリー 貝原歴史資料館、 カイハラ(株)三和工場	ヒロポー(株) ライブファクトリー
第6回 2月1・2日 (鳥取)	鳥取支部長 野津 一成氏	鳥取県知事 平井 伸治氏	(株)鳥取銀行 代表取締役頭取 宮崎 正彦氏	鳥取テクノビルズ (株)HRD (株)鳥取メカシステム	とりぎん 文化会館
第7回 3月30日 (広島)	広島支部長 細川 匡氏	アリスオーヤマ(株) 代表取締役社長 大山 健太郎 氏	広島大学 教授 井上善海氏、 中国NB大賞表彰制度受 賞企業 ・(株)吉田ふるさと村、 ・ポエック(株) ・(株)東洋高圧	修了式	ANAクラウン プラザホテル 広島

### 3. 情報提供

(1) ツールを活用した情報発信（情報発信件数 276件）

1) メールでの情報発信

国や自治体、連携する各種経済団体のうち、会員企業様に役立つ情報をタイムリーに発信すると

ともに、会員企業様の各種イベントや新商品等のPRに資する情報を、会員企業様からの情報提供に基づき発信しました。また、「伝わりやすさ」の向上を図るため、メールの件名で概ね内容が伝わるよう工夫したり、内容の紹介の前に事務局員からのコメントをつけ、その情報が必要な人に届くように工夫したりしました。事務局員の「顔が見える」よう、「事務局スタッフのつぶやき」も継続して発信しています。

【参考：メール発信区分】

- ・「会員情報ステーション」：会員企業様のPR等  
 (例)「セミナー／中国NBC」：当協議会や中国経済産業局、(独)中小企業基盤整備機構など、会員企業様を支援する団体等の情報
- ・「NBCトピックス」：都度配信した情報を2週間分まとめたダイジェスト版(事務局スタッフのつぶやきを含む。頻度：1回／2週間)

2) ホームページによる情報発信

当協議会の概要や会員名簿、協議会の活動状況、会員様に役立つ情報など、会員企業様が知りたい情報を豊富かつタイムリーに掲載しています。中国NBCの活動で旬なものや参加者を募集している活動に関しては、バナーを作って目立つように工夫をしています。是非一度ご覧ください。  
<http://www.cnbc.or.jp/> 「中国NBC」で検索してください。

3) ブログによる情報発信

NBC全体の事業や活動、事務局員のつぶやきを掲載する中国NBCブログと各支部ブログを掲載。ブログを使った報告をすることにより、会員様により生の声や会場の雰囲気伝えることができました。また、各支部ブログに支部活動の内容を掲載することで、参加しなかった方にも興味を持って頂けるような取り組みができました。

### Ⅲ. ネットワーク拡大支援

#### 1. 会員交流

##### (1) 支部拡大・交流事業

【各支部での開催実績】

支部	日程	テーマ	参加者数
鳥取	6月15日	<b>■理事会</b> 議題：支部活動計画、会員拡大、支部運営組織、経営塾 他 <input type="checkbox"/> 会場：ホテルニューオータニ	5名
	9月6日	<b>■うんちくを語る会</b> 『NBC鳥取支部会員及び支援機関の懇親を図る会』 <input type="checkbox"/> 会場：梅乃井(鳥取市)	15名
	1月18日 【島根支部共催】	<b>■第1部：「地中熱利用で空調の常識を変える!!」</b> 講師：(株)ジオパワーシステム 代表取締役 橋本 真成 氏  <b>■第2部：「地域再生の切り札～スマートグリッドタウン構想」</b>	25名

支部	日程	テーマ	参加者数
		講師：鳥取環境大学情報システム学科 教授 鷺見 育亮 氏 □会場：米子コンベンションセンター	
島根	6月14日	■理事会 議題：会員増強、経営塾、支部運営と活性化について □会場：海鮮料理 鶴丸（松江市東本町1-79）	6名
	1月18日 【鳥取支部共催】	■第1部：「地中熱利用で空調の常識を変える!!」 講師：(株)ジオパワーシステム 代表取締役 橋本 真成 氏 ■第2部：「地域再生の切り札～スマートグリッドタウン構想」 講師：鳥取環境大学情報システム学科 教授 鷺見 育亮 氏 □会場：米子コンベンションセンター	25名
岡山	7月28日	■講演会：「資源ベース理論からみた地域ブランドの創造と育成」 講師：国立大学法人 岡山大学 キャリア開発センター 教授 杉山 慎策 氏 ■パネルディスカッション 「中小企業の強みを活かすブランディングとは」 ・(社)中国地域ニュービジネス協議会 副会長・岡山支部長 中島 義雄 氏 ・国立大学法人 岡山大学 キャリア開発センター 教授 杉山 慎策 氏 ・(社)中国地域ニュービジネス協議会 理事・岡山支部女性部会長 佐藤 千津子 氏 □会場：岡山国際交流センター	45名
	11月8日	■講演1：「私の考える経営」 講師：京セラ 株式会社 相談役 伊藤 謙介 氏 ■講演2：「経営の面白さ、難しさ」 講師：(社)中国地域ニュービジネス協議会 会長 柏原 伸二 氏 □会場：ピュアリティまきび	35名
	2月25日	■演奏会：「クロマチック・ハーモニカ演奏」 奏者：錦 恵子 氏 ■発表：『『おかやま もも姫御膳』成果発表』 発表者：(有)フイユ 代表取締役 田村 二葉 氏 ■講演会 「地域活性化で底上げ！岡山ブランドを全国発信！」 講師：(株)トミヤコーポレーション 代表取締役会長 古市 大蔵 氏	50名
広島 東部	4月15日	■理事会 議題：平成23年度活動計画 ■講演：『水木しげるロードの成功事例から学ぶ』 講師：境港商工会議所 庄司 亨 氏 ■講演：『八天堂クリームパン 成功の秘訣』 講師：(株)八天堂 代表取締役 森光 孝雄 氏 ■ディスカッション：	59名

支部	日程	テーマ	参加者数
		<p>『地域おこしを成功させる為には』 ～竜馬の歩いた「鞆の浦」に観光客を呼ぶ モデレーター 福山大学 経済学部 准教授 小林 正和 氏 パネリスト 福山市 経済環境局 経済部 観光課長 亀田 繁樹 氏 パネリスト 境港商工会議所 庄司 亨 氏 パネリスト (株) 八天堂 代表取締役 森光 孝雅 氏</p> <p>□福山大学駅前キャンパス 宮地茂記念館</p>	
	7月26日	<p>■セミナー・意見交換会： 『いま流通で起こっていること ～株式会社イトヨーカ堂の取り組み』 講師：株式会社イトヨーカ堂 食品事業部 推食品開発担当ネット推進室担当 坂倉 秀人 氏</p> <p>□福山大学駅前キャンパス 宮地茂記念館</p>	39名
	1月23日	<p>■公開討論： 『いま何をしなければならぬのか？ 御社の5年後を想像できますか？』 モデレーター 財団法人 岡山県産業振興財団 産業プロモータ 高木 二三男 氏 モデレーター 有限会社 Gyo LightHouse 代表取締役 笠原 暁 氏 パネリスト 横山製網 株式会社 取締役生産部長 横山 敬弘 氏 パネリスト 三石耐火煉瓦 株式会社 開発部 部長 森 宏行 氏 パネリスト 金光味噌 株式会社 代表取締役 金光 邦彦 氏 パネリスト 農業生産法人 アグライندگانストーリー 代表取締役 岡田 吉弘 氏</p> <p>□福山大学駅前キャンパス 宮地茂記念館</p>	35名
広島	4月27日	<p>■理事会「平成23年度の活動計画」 □会場：(社) 中国地域ニュービジネス協議会 会議室</p>	8名
	5月20日	<p>■理事会「平成23年度の具体的計画」 □会場：(社) 中国地域ニュービジネス協議会 会議室</p>	8名
	7月20日	<p>■『中国NBC Passion Seminar 2011 #1』 「ひろしまファンド事業」から成長を掴む！ 講師：(株) ひろしまイノベーション推進機構 代表取締役社長 山下 尊弘 氏</p> <p>□会場：八丁堀シャンテ</p>	27名

支部	日程	テーマ	参加者数
	8月17日	<p>■『中国NBC Passion Seminar 2011 #2』 『笑いの殿堂「よしもと」から全国ネットワークを掴む!』 講師:(株)よしもとクリエイティブ・エージェンシー エリアプロジェクト エリア新喜劇担当部長 木山 幹雄 氏 広島担当芸人 フリータイム (松浜 心・塩谷 正蔵) □会場:八丁堀シャンテ</p>	中止
	9月14日	<p>■『中国NBC Passion Seminar 2011 #3』 『夢を諦めず挑戦し続ける!』 ～自社製品開発にかける“信念”と苦しい中でも開発を続ける “執念”を語る～ 講師:(株)コーポレーションパールスター 専務取締役 新宅 光男 氏 □会場:八丁堀シャンテ</p>	20名
	11月9日 【女性部会共催】	<p>■『中国NBC Passion Seminar 2011 #4』 『女性起業家からヒントとエネルギーを掴む!』 ～時代変化に対応し強くなる企業、そして輝く自分とは?～ 講師:(株)ハー・ストーリィ 代表取締役 日野 佳恵子 氏 □会場:八丁堀シャンテ</p>	65名
	1月18日	<p>■『中国NBC Passion Seminar 2011 #5』 『想定外時代を生き抜く戦略思考』 ～逆境においても最高の利益を上げる方法とは?～ 講師:広島大学大学院社会科学部 教授 中国NBCニュービジネス大賞審査会会長 井上 善海 氏 □会場:八丁堀シャンテ</p>	16名
	6月24日	<p>■講演1:「変化率が勝負!」 講師:(株)アド 代表取締役社長 小野 悟 氏 ■講演2:「空調の常識を変える!」 地中熱利用換気システムの事業展開 講師:(株)ジオパワーシステム 代表取締役社長 橋本 真成 氏 □会場:ホテルサンルート徳山</p>	53名
山口	11月17日	<p>■講演1:「ピンチはチャンス!」 ～山口の山奥の小さな酒蔵だからこそできたもの～ 講師:旭酒造(株) 代表取締役社長 桜井 博志 氏 ■講演2:「経営は難しい、しかし、面白い」 講師:(株)カシワバラ・コーポレーション 代表取締役社長 柏原 伸二 氏 □会場:ホテルサンルート徳山</p>	55名
	2月9日	<p>■講演1:「ネアカ、ノビノビ、ヘコタレズ」 ～経営者として私が大事にしてきたこと～ 講師:医療法人新生会 理事長 寺園 久恵 氏 ■講演2:「ご縁と出ベソで夢の実現」 講師:多機能フィルター(株) 代表取締役社長 山本 一夫 氏 □会場:ホテルサンルート徳山</p>	42名

(2) 女性部会活動

各支部の女性の経営者や起業家を主なメンバーとして、女性部会独自の活動を展開しました。

支部	日程	テーマ	参加者数
島根	11月2, 3日	<p>■講演1：「地域活性における女性の活躍について」 講師：山陰合同銀行 取締役頭取 古瀬 誠 氏</p> <p>■講演2：「地域の伝統を生かした新分野への取組み」 講師：(株) めのや 代表取締役 新宮 正朗 氏</p> <p>□会場：玉造温泉「松乃湯」</p>	15名
岡山	6月29日	<p>■講演会：「肥塚見春氏特別講演」 講師：(株) 岡山高島屋 代表取締役社長 肥塚 見春 氏</p> <p>□会場：ゆうあいセンター 研修室</p>	17名
	9月28日	<p>■セミナー：「山本ケイジロウ氏特別セミナー」 講師：あしたね研究所 山本 ケイジロウ 氏</p> <p>□会場：喜怒哀楽</p>	7名
	10月21日	<p>■セミナー 「ミッションとブランド」 講師：国立大学法人 岡山大学 キャリア開発センター 教授 杉山 慎策 氏</p> <p>□会場：岡山県生涯学習センター</p>	10名
広島	4月11日	<p>■幹部打合せ「平成23年度運営について」</p> <p>□会場：(株) ウーブル・ロールモデル研究所</p>	6名
	5月6日	<p>■「平成23年度の活動計画」</p> <p>□会場：(社) 中国地域ニュービジネス協議会 会議室</p>	10名
	6月21日	<p>■ビジネス交流カフェ vol. 1 テーマ：『“癒し空間”の裏側にある喜びと工夫とは？』 講師：ほの湯 楽々園 店長 小久保 真 氏</p> <p>□会場：塩屋天然温泉 ほの湯 楽々園</p>	15名
	8月18日	<p>■ビジネス交流カフェ vol. 2 テーマ：『仕事にかける情熱』 ～時代を駆けめぐるTVディレクターの素顔にせまる～ 講師：TVディレクター 信友 直子 氏</p> <p>□会場：テレビ新広島</p>	21名
	10月20日	<p>■ビジネス交流カフェ vol. 3 テーマ：『統計学から自分を知り、ビジネスに活かす』 ～自分を知り、相手を知る～ 講師：(株) 文華堂 代表取締役社長 伊東 由美子 氏</p> <p>□会場：(社) 中国地域ニュービジネス協議会 会議室</p>	中止
	1月12日	<p>■(株) モルテン 民秋社長との懇談会</p> <p>□会場：しゃぶ蘭 満月 (みつぎ)</p>	7名
山口	4月28日	<p>■総会 22年度の振り返りと23年度の活動内容をディスカッション</p> <p>□会場：ルルサス防府 オステリア・アンコーラ</p>	8名
	5月23日	<p>■自分史を書こう！ワークショップ 過去から現在に至るまでの“自分史”を知り、さらに次のステップへ</p> <p>□会場：東横イン 新山口駅前</p>	8名
	7月20日	<p>■女性起業家ミーティング in 山口</p>	26名

支部	日程	テーマ	参加者数
		講演1：「転機を越えてゆこう！母として、経営者の妻として、住職として、シンガーソングライターとして」 瀬戸内ジャムズガーデン 取締役 松嶋 智明 氏 ■講演2：「プラス思考で転機を越える！」 (株)ヤクルト本社 保育担当課長 宇多川 きよ美 氏 □会場：ルルサス防府 研修室2	
	9月22日	■社員の育成ってどうしてる？本音トーク&ディナー 参加者それぞれの社員教育の悩みについてディスカッション □会場：レストラン ソルポニエンテ (小野田市)	9名
	12月13日	■メンタルヘルスについて聞きにくいこと、聞いちゃおう会！ 講演：「働き盛りのメンタルヘルス」 医療法人社団 土屋医院の副院長、土屋 智 氏 □会場：宇部市民活動センター	15名
	3月24日	■岩国美術館で柏原会長を囲む会&平成24年度の活動計画 (株)カシワバラ・コーポレーション 柏原社長に美術館を解説いただき見学&ディスカッション。24年度の内容を検討。 □会場：岩国美術館	8名

## 2. 連携促進

### (1) (公社)日本ニュービジネス協議会連合会(JNB)・各地域ニュービジネス協議会との連携活動

JNB、各地域の協議会との連携・交流を通じて、最新情報の収集、各地域の企業様と協議会の会員企業とのネットワーク構築の支援(相互会員紹介2社)、また、JNB主催のニッポン新事業創出大賞制度への会員企業の推薦、第7回JNB全国会員大会(第7回新事業創出全国フォーラムin関西)への参加、JNB主催海外視察への参加(1名)、更に、今年度からスタートした経営塾に関東NBC池田会長、東北NBC大山会長に講師として協力をしていただくなど連携の幅が広がりました。

### (2) 中国地域内外関係機関との交流及び協力

会員様が抱える課題解決のため、中国経済産業局、自治体、中小企業基盤整備機構、各支援機関、地域金融機関、大学などとの連携・交流を通じて、各種講演会やイベントの共催、後援の実施、国や支援団体が実施する表彰制度への推薦、国、金融機関、支援機関などが実施する補助金や助成金制度への推薦などを積極的に行い、会員支援を実施しました。

## 3. 異業種交流

### (1) 広域・異業種交流事業(広島5:01クラブ)

アフターファイブに気楽に集まり、人脈づくりや連携強化に役立ていただく事業です。平成15年から実施している事業であり、幹事会社様のご協力を得て今年度は3回開催しました。

#### 【開催実績】

日程	幹事会社様	場所	参加者数
9月7日	J A広島 中央会	J A広島中央会 J Aビル	172名
10月21日	(株)中国電力・中経連	平和大通り電気ビル	124名

11月21日	広島銀行	広島銀行ハイビル21	88名
計	—	—	384名

#### 【主な成果】

東日本大震災の影響もあり、今年度の年間参加者は約400名でしたが、参加者の人脈づくりに貢献しました。また、幹事会社様も広島5：01クラブの開催に併せてセミナーを開催するなど、本事業の集客力を活用しています。

### IV. 地域新成長産業創出支援

#### 1. 研究開発・事業化支援

##### (1) バイオマス・ファインケミカルズ・リファイナリーシステム構築事業

##### 1) バイオマス・プラットフォーム構築事業

バイオマスの加工等を行う川中企業の事業化の推進を目的として、技術シーズ提供や、相互に情報交流、研究協議、紹介・斡旋等を行う場として、バイオマス・プラットフォームを新設し、バイオマス・プラットフォーム会議を3回実施しました。

日程	10月13日	会場	中国経済産業局	参加者数	15名
概要	1. 講演 「バイオマス由来材料の新しい展開」 信州大学 繊維学部 特任教授 網屋 繁俊 氏				
日程	11月21日	会場	中国経済産業局	参加者数	23名
概要	1. 講演 「人工木関連市場の最新状況」 積水化学株式会社 都市環境事業本部 企画担当課長 木許 竜也 氏 2. 「バイオマス・ファインケミカルズ・リファイナリーシステム構築事業」の概要 およびハイブリッド材料研究会の実施状況報告 ・セルロースファイバー事業化研究会（真庭市4回） ・木粉の高付加価値化事業化研究会（木質プラスチック）（真庭市6回2部会） ・竹資源の高付加価値利活用事業化研究会（広島市2回） ・バイオマス素材ハイブリッド化研究会（広島市2回） ・リグニン高付加価値素材製品事業化研究会（隠岐の島町3回） 3. バイオマス関連事業への取り組みについて（本会議への参加企業各社による説明） ①（有）東根製作所 ②瀬戸内ランドマリン（株）③濱本水産（株） ④山陽工営（株） ⑤ガイア協同組合				
日程	2月20日	会場	中国経済産業局	参加者数	20名
概要	1. 講演 「高流動性木質バイオマスプラスチックの展開」 ～射出成形可能な高濃度マスターペレット～ 出光興産（株） 機能材料部AO・AO誘導品グループ 小出 秀樹 氏				

(2) バイオマス・ファインケミカルズ・アドバイザリーボード

「バイオマス・ファインケミカルズ・リファイナリー」関連の早期事業化に向けて、本プロジェクトに参加している個別企業に対して、アドバイザリーボードを3回実施し、具体的な課題の抽出およびその対応について討議しました。

また、参加企業の出資による自立化、有料化方法について討議しました。

日程	10月13日	会場	中国経済産業局	参加者数	15名
概要	1. バイオマス・ファインケミカルズ・アドバイザリーボードについて 2. 平成23年度地域新成長産業創出促進事業「バイオマス・ファインケミカルズ・リファイナリーシステム構築事業」について 3. 平成24年度地域新成長産業創出促進事業概算要求の状況について				
日程	11月21日	会場	中国経済産業局	参加者数	23名
概要	1. 瀬戸内ランドマリン(株)の新事業について 瀬戸内ランドマリン(株) 代表取締役 河村 信正 氏 2. 讃岐化成(株)の新事業について 讃岐化成(株) 代表取締役社長 西本 祐三 氏				
日程	2月20日	会場	中国経済産業局	参加者数	13名
概要	1. (株)テオリの竹資源利用新事業について (株)テオリ 代表取締役 中山 正明 氏 2. プラットフォーム自立化への取組状況 (社)中国地域ニュービジネス協議会 チーフコーディネーター 竹内 善幸 氏				

(3) ハイブリッド材料研究会

中国地域の製鉄・鉄鋼や精密加工技術、発酵・酵素技術、超臨界抽出・ケミカル反応技術、食品化工・製薬技術等を活用するとともに、中国地域内外の専門家の技術情報を活用することにより、バイオマス・ファインケミカルの事業化を推進しました。

本研究会は、単なる技術情報の入手・交流ではなく、具体的な事業化を実施するため、テーマ及びメンバーを絞り込みながら実施しました。

【セルロース・ファイバー事業化】

ハイブリッド材料 研究会 【8回開催】	日程	①6月17日 ②8月4日 ③8月29日 ④9月30日 ⑤11月9日 ⑥12月27日 ⑦2月24日 ⑧3月30日
	会場	①③⑥真庭バイオマスラボ会議室 ②⑤⑦OBICC会議室 ④メルパルク岡山会議室 ⑧テクノサポート岡山会議室
	概要	<ul style="list-style-type: none"> <li>・実験の進捗状況について</li> <li>・今後のスケジュール、用途開発ほか意見交換</li> <li>・ユーザー企業の評価等用途開発について</li> <li>・来年度予算について</li> <li>・来年度に向けた体制等について</li> <li>・知財相談会</li> </ul>

【木粉の高付加価値化事業化】

日程	11月11日	会場	真庭バイオマスラボ会議室	参加者数	14名
概要	1. 講演 「WPCの生産技術について」 元三菱化学（株） 機能樹脂エンプラ部門 研究開発担当者 守田 和正 氏				

【竹資源の高付加価値利活用事業化】

日程	8月12日	会場	中国経済産業局	参加者数	10名
概要	1. 講演 「ブルーマリン・バイオマスへの竹炭利用技術」 広島工業大学 教授 今岡 務 氏 2. バイオマス関連事業への取組み状況について ガイア協同組合 副理事長 今谷 龍彦 氏 瀬戸内ランドマリン（株） 代表取締役 河村 信正 氏 （株）テオリ 代表取締役 中山 正明 氏 広島ガステクノ（株） 顧問 桐谷 章 氏				
日程	10月14日	会場	中国経済産業局	参加者数	15名
概要	1. 講演 「酵素の利用技術」 元酒類総合研究所 家藤 治幸 氏 2. バイオマス関連事業への取組みについて ①瀬戸内ランドマリン（株） ②ガイア協同組合				
日程	1月20日	会場	中国経済産業局	参加者数	11名
概要	1. 竹資源の高付加価値利活用事業化研究会について （社）中国地域ニュービジネス協議会 チーフコーディネーター 竹内 善幸 氏 2. 牡蛎筏のリース事業化について ひろぎんリース（株） 住山 克善 氏				
日程	2月2日	会場	廿日市市役所	参加者数	10名
概要	1. 廃牡蛎筏の資源化事業について （社）中国地域ニュービジネス協議会 チーフコーディネーター 竹内 善幸 氏 2. 廃牡蛎筏竹材の資源化事業化実証について 瀬戸内ランドマリン（株） 取締役 河村 信正 氏				
日程	3月2日	会場	ホテル広島ガーデンパレス 会議室	参加者数	9名
概要	1. 講演 「竹の植林技術について」 富山県中央植物園 園長 内村 悦三 氏				
日程	3月26日	会場	中国経済産業局	参加者数	8名
概要	1. 牡蛎筏の資源化実証実験の実施状況 瀬戸内ランドマリン（株） 代表取締役 河村 信正 氏				

【バイオマス素材ハイブリッド化】

日程	8月4日	会場	宮島コーラルホテル	参加者数	9名
概要	<p>1. 講演 「バイオマス素材のハイブリッド化について」                  広島大学 准教授 中井 智司 氏</p> <p>基礎研究の進捗状況</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・バイオマス素材（竹材・竹炭等）からの機能性成分の溶出                  広島大学 准教授 中井 智司 氏</li> <li>・アサリ／ハイブリッドペレットの垂下実験結果                  濱本水産(株)代表取締役 濱本 恵津生 氏                  (社)中国NBC コーディネーター 井川 光嗣 氏</li> </ul>				
日程	10月24日	会場	濱本水産(株)会議室	参加者数	4名
概要	<p>1. アサリ漁場改善に関する基礎研究の進捗状況報告</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>①広島大学准教授中井智司先生、戸田工業(株)松井敏樹氏の基礎研究実施状況報告                  (社)中国地域ニュービジネス協議会 チーフコーディネーター 竹内 善幸 氏</li> <li>②垂下方式の基礎研究状況について                  濱本水産(株) 代表取締役 濱本 恵津生 氏</li> </ul> <p>2. アオサの利活用に関する調査結果報告</p> <p>3. 廃牡蠣殻の資源化</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>①瀬戸内ランドマリン(株)から排出される竹端材の発生状況について                  瀬戸内ランドマリン(株) 代表取締役 河村 信正 氏</li> <li>②竹の端材と水産系バイオマス(アオサ、牡蠣殻など)を混合した                  「ハイブリッド素材」としての利活用                  (社)中国地域ニュービジネス協議会 コーディネーター 井川 光嗣 氏</li> </ul>				
日程	2月10日	会場	はつかいち文化ホールさくらびあ会議室	参加者数	12名
概要	<p>1. 研究会実施計画説明                  (社)中国地域ニュービジネス協議会 チーフコーディネーター 竹内 善幸 氏</p> <p>2. 基礎研究の進捗状況</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>広島大学大学院工学研究課 准教授 中井 智司 氏</li> <li>同上 准教授 磯本 良則 氏</li> <li>戸田工業株式会社創造本部 グループリーダー 松井 敏樹 氏</li> <li>濱本水産株式会社 取締役 濱本 恵津生 氏</li> <li>(社)中国地域ニュービジネス協議会 コーディネーター 井川 光嗣 氏</li> </ul>				

【リグニン高付加価値素材製品事業化】

〈研究会開催〉

○平成23年11月28日(月)「リグノフェノール研究会」

\*隠岐の島実証プラントで製造したリグノフェノール商品開発状況報告

\*秋田県立大学教授栗本康司先生の「木材の反応性と商品開発の現状」に関する講演

○平成24年02月13日(月)「リグノフェノール研究会」

\*「リグノフェノールを原料として用いた隠岐の島海浜テラス・モデル構築」に関する経過報告

\*日立造船による海藻からの家畜飼料製造状況報告

\*生ゴミおよび間伐材等の未利用資源を混合した廃棄物からのメタン発酵事業計画報告

〈事業開発状況〉

○リグノフェノールを単独または既存のフェノール樹脂との混合重合を基準にした積層板の開発



5) バイオマス・ファインケミカルズ・リファイナリーシステム構築に向けたセミナー

平成23年度「バイオマス・ファインケミカルズ・リファイナリー」システム構築事業の総とりまとめとして、本年度に実施した研究会、セミナー、講演会などの状況を紹介します。今後の事業化推進計画について技術セミナーおよび討議を実施しました。

日程	3月15日	会場	ホテルグランヴィア広島	参加者数	50名
概要	<p>1. 講演 「バイオマスの液化とその利用」            (株)白石バイオマス 取締役、京都大学 名誉教授 白石 信夫 氏</p> <p>2. 講演 「竹資源の高付加価値化と事業戦略」            (株)タケックス・ラボ 代表取締役社長 清岡 久幸 氏</p> <p>3. 事業化推進事例紹介  <b>【事例1】</b> 真庭市バイオマスラボ  <b>【事例2】</b> 隠岐の島「緑のコンビナート」  <b>【事例3】</b> バンブー・ファインケミカルズ            (社)中国地域ニュービジネス協議会チーフコーディネーター 竹内善幸  <b>【事例4】</b> ブルーマリン・バイオマス            (社)中国地域ニュービジネス協議会 コーディネーター 井川光嗣</p> <p>4. バイオマス・ファインケミカルズ商品・試作品の紹介            展示室にて、展示用ブースを敷設            ①バイオマス・ファインケミカルズ②バンブー・ファインケミカルズ            ③ブルーマリン・バイオマス④出光興産⑤タケックス・ラボ            ⑥白石バイオマス⑥真庭市⑦緑化技術</p>				

(6) コーディネーターによるマッチング

バイオマス・ファインケミカルズ・リファイナリーシステムの構築に目標を絞り、構築した広域ネットワークを活用して、フェース・トゥ・フェースでなければ入手できない類の関連する企業や機関の事業化推進動向、新技術情報、課題等の新規事業創出に向けた情報を調査し、関係者間の調整を進めながら担い手の発掘、ビジネスマッチング、事業立ち上げ等のマッチング事業を実施しました。

(7) 動画による情報発信・市場開拓

紙媒体や静止画では伝えきれないバイオマス・ファインケミカルズ（リグニン、セルロースナノファイバー、竹製品等）の情報を動画形式でとりまとめるとともに、展示会場におけるプロモーションや低コストで広範囲（世界中）に発信できるインターネットを活用し、効率的・効果的に情報を発信することを狙って、「隠岐の島：緑のコンビナート」・「バンブー・ファインケミカルズ・リファイナリー」の動画2本を製作しました。

(8) バイオマス・ファインケミカル川中企業バーチャル・プラットフォームの構築

これまでにコーディネーターが構築してきたネットワーク機関の有する関連情報に加え、川中企業の技術・製品情報、川下企業のニーズ動向、及び、研究機関が有する技術シーズ情報等を効果的・効率的に情報発信・交換できるホームページ「中四国圏バイオマス・ファインケミカルズ・リファイナリー」～地球にやさしくバイオマスを活用するには～を作成しました。

(9) マッチング交流会への出展

中国地域の取り組み紹介やバイオマス関連企業の製品・技術の販路開拓を効率的・効果的に行うため、多数の企業・団体が出展し、ビジネスを目的とした来場者も多い下記展示会へ、包括的なブース及び個別企業との一体的な装飾等により出展を行った。出展の結果、商談や商談に繋がる案件が多く成立しました。

展示会名称	日程	会場	支援企業数	来場者数
びわ湖環境ビジネスメッセ	10月19日～21日	滋賀県立長浜ドーム	3	37,280名
展示会名称	日程	会場	支援企業数	参加者数
「中四国環境ビジネスネット(B-net)」	11月11日	メルパルクOKAYAMA	20	約200名

2. サービス産業支援

【中国地域食関連産業強化事業】

本事業は、平成23年度に中国経済産業局が実施した補助事業を弊協議会が受託しました。中国地域の食の生産・加工、卸、小売業者に、旅館やレストランなど所謂おもてなし型事業者も加えた食関連産業事業者を対象に、研究会の開催、専門家の派遣、ビジネスマッチング事業等を通じて、地域の食資源を活用した商品開発や販路開拓、地域興しなどの取り組みの支援を行ないました。

(1) 研究会の開催

島根県雲南市で4回、広島県庄原市で5回、岡山県真庭市で2回、計11回開催しました。

開催日	講師	講演テーマ	参加者	
雲南	10月20日	■(株)高野総本店 代表取締役社長 高野 豊 氏	商品の強み磨いて全国展開するために！	18名
	11月14日	■(株)タウンクライアー 代表取締役 嶋 啓祐 氏	お取り寄せグルメの達人と行列ができるレストランのシェフに聴く	18名
		■ビストロリヨン シェフ 山本 悟 氏	地域産品を売り込む知恵とコツ	
	12月1日	■スパイスライフ アドバイザー 大平 美弥 氏	香りと味覚のマジックスパイスの魅力	13名
	2月6日	■(有)メーカーズマーク 代表取締役社長 秋田 正貴 氏	～プロ直伝 役立つ 実践的～ おいしさを伝えるPR戦略	18名
庄原	9月26日	■(財)上田繊維科学振興会 理事・信州大学繊維学部特任教授 岡田 基幸 氏	“つながり”を意識したものづくり	29名
		■(株)ラベルバンク 代表取締役 川合 裕之 氏	売れる商品と売れない商品の間にあるほんのちょっとしたスキマ ー機能性食品の安全性と有効性を伝えるときの大切なポイントー	
	10月25日	■織本真理企画室 代表取締役社長 織本 真理 氏	消費者とつながる食の魅力づくり	24名
	12月20日	■織本真理企画室 代表取締役社長 織本 真理 氏	つくってみよう！新しい食の魅力	16名
	3月16日	■広島市立大学芸術学部 教授 吉田 幸弘 氏	包み方の包まれ方	33名

		■ (株) お宙 代表取締役 清水 早苗 氏	つながりつづける売れるパッケージの作り方	
	11月25 ～26日	地域づくり連携サミットとの連携	研究会会員による活動発表とサミットへの参加による効果的な連携	約600名
真 庭	11月17日	■ (株) 小布施堂 代表・前国土交通省地域振興アドバイザー 市村 次夫 氏	①地域文化と食～小布施・北斎と栗と修景のまちづくりから ②ワーキング：フィールドワーク～資源調査	15名
	3月8日	■(株)鉄の歴史村 代表・前国土交通省地域振興アドバイザー 藤原 洋 氏	①歴史的街並みと食の魅力を活かした交流事業～鉄の歴史村交流推進会議の展開 ②ワークショップ：「地域資源を活かした「まにわっしょい」新展開	11名

研究会の内容や地域づくり連携サミットへの参加等を通じて地域の食関連事業者の「やる気」を引き出し、自発的な取組みが進むような構成となるよう努めました。また、大学等の研究者、外部専門家、事業者、行政など当該事業者の取組みをサポートするネットワークの構築・強化にも重点的に取り組みました。その結果、研究会に対する参加者アンケートにおいても「高い満足度」が得られ、島根県雲南市、岡山県真庭市、広島県庄原市での参加者受講後アンケートにおける「役立つ内容だった」の全体回答割合（「大いに役立つ」「役立つ」の回答割合の合計）は、89.3%で9割近い満足度となりました（「あまり役立たない」=9.7%）。（上記割合は3研究会での各選択肢への回答結果を合計して算出。）

## (2) 専門家の派遣

広島県庄原市高野町、広島県山県郡北広島町、広島県世羅郡世羅町からの要請に対し専門家を計7回派遣して勉強会を開催しました。

地 点	対 応 ・ 活 動 実 績			
広島県 庄原市 高野町	■庄原市高野の逸品100プロジェクト委員会からの要請を受け、勉強会を2回開催。			
	開催日	講師	講演内容	参加者
	2月27日～28日	■Café Teco オーナーシェフ 手嶋 有紀 氏 ■(有) フィールドワーク 取締役社長 掟 孝洋 氏	特産品開発講座  個別相談会	60名  13名
広島県 山県郡 北広島町	■中山間地域まちづくり研究所からの要請を受け、勉強会を2回開催。			
	開催日	講師	講演内容	参加者
	10月17日	■(株) シーズ総合政策研究所 代表取締役社長 藤原 啓 氏	地域資源の棚卸 (ワークショップ) 「現状および課題 整理」	10名
	11月2日	■道の駅萩しーまーと 専務理事 中澤 さかな 氏	北広島町ならではの 商材群・メニュー群 づくり	8名

広島県 世羅郡 世羅町	■世羅郡料飲組合からの要請を受け、勉強会を3回開催。			
	開催日	講師	講演内容	参加者
	10月26日	■ビストロエム2 代表 宮崎 学 氏	アスリート向けメニュー 開発について	17名
	11月28日	■(株)シーズ総合政策研究所 代表取締役社長 藤原 啓 氏	地域資源の棚卸 (ワークショップ) 「現状および課題 整理」	6名
2月27日	■広島文化学園短期大学 コミュニティー生活学科 准教授 鳥田 いづみ 氏	食のブランド化を 成功させるには	29名	

### (3) ビジネスマッチング事業

勉強会の開催や専門家の派遣等を通じて商品開発等を進めてきた案件について、当協議会主催の個別商談会「Win-Win 2011」、および広島市等が主催（当協議会后援）の「ビジネスフェア中四国2012」への出展を実施することで、バイヤーからの評価の反映による更なるブラッシュアップやバイヤー等とのビジネスパートナーとの接点形成に取り組みました。

#### ①Win-Win 2011（平成23年9月15日開催）

雲南研究会からキッチン工房「はしまん」（株）鉄の歴史村、並びに、庄原研究会から東洋林産化成（株）が出展。商談は成立しませんでした。会場に併設された専門家相談を受けるなどブラッシュアップを図りました。弊協議会主催の「Win-Win 2011」では、当日の商談会が効果的に行われるように、参加企業（セラー）に対し、事前に自社の商材の特徴・強み・アピールポイント・競合商品との違い等を記載した「商品概要書」を作成してもらったと同時に、商談を希望する参加企業（バイヤー）を選択してもらった「事前マッチング」を実施しています。さらに参加企業（セラー）に対し、商談会開催後の成功事例のご紹介などアフターフォローも行っています。こうした出展を通じたブラッシュアップを通じて、各企業が独自に商談を進め、首都圏での取引開始という成果につながるケースも生まれました。

#### ②ビジネスフェア中四国2012（平成24年2月3日～4日開催）

（出展者数：177社、来場事業者数：516社（815人）、商談件数：4,314件）

雲南研究会から、みどりちゃん委員会（雲南農業協同組合）、有限会社紅梅しょうゆの2社が出展し、18件の商談件数がありました。

### (4) 本事業の成果

#### ①意識醸成等に関する効果

今年度で開催した研究会等を通じて、参加食関連事業者の「やる気」が醸成されるとともに、地域の食資源及びそれらを活用した商品群に対する再評価も行われました。また、販路拡大への意欲が向上し、これまでBtoBの取引を主としてきた事業者が、消費者と直接の接点を持つべくBtoCの取引を模索し、都市部のレストランに食材を提供して消費者と対話するといった動きも見られました。

## ②事業関係者・機関等ネットワーク基盤の強化に関する効果

大学等の研究者・外部専門家、事業者、行政など、こうした取組みをサポートするネットワークも構築・強化され、主に都市消費者の生活様式や価値観を具体的に反映したプロダクツの継続的な開発、それを成約につなげる製品・サービスプロモーション（販売やPR手法など）、中山間地域において地域の食資源の活用による新事業、新商品の開発を実践する事業者や担い手の育成など、継続的な事業展開が可能となる基盤が形成されました。

## （５）今後の取組み

事業効果の活用を図るため、引き続き中国経済産業局と連携を取りながら、本事業の支援対象事業者や、地域状況調査の対象となった事業者に対して今後も必要な支援を継続的に実施します。

## V. 体制整備

### 1. 組織運営の整備と充実

#### （１）会員増強

支部役員を中心とした支部イベントの開催や支部担当による会員訪問を行いました。イベントや会員訪問を通じ、中国NBCの魅力をお伝えするとともに、会員企業様の事業内容などの把握に努め、コミュニケーションの充実を図りました。

#### （２）体制強化

今年度は、新法人移行対応業務に備え昨年度比1名増の計事務局員10名（会員企業からの出向社員8名、プロパー職員2名）体制として、「支部活性化」をひとつの目標に掲げ、会員訪問やイベントの開催など支部の状況に応じた活動や国からの受託事業の執行を昨年度に続き、積極的に展開するとともに新法人移行準備も進めました。

#### （３）各種ツールの整備

##### 1. ホームページの整備

①NBCの旬な事業や参加者を募集する事業、大切なお知らせごとに、バナーを作り、トップページに配置しました。これにより、ホームページにアクセスした人が、NBCが見て欲しい内容を一目でわかり、また、目的のページに早く誘導することができました。

②Win-Winのページに平成23年度の成功事例を紹介し、参加者のメリットや成果をわかりやすく紹介しました。

##### 2. 法人制度改革への対応

平成24年9月の一般社団法人化申請と平成25年4月の新法人登記に向けて定款の見直し、新法人役員体制の見直し・強化に向けて着実に準備を行っています。